

ここしかない。心おどる○○○

徳島市長(徳島県) **原 秀樹**

Hideki Hara

マイ
プライベート
タイム



新町川から望む眉山

徳島市が目指す 「心おどる水都・とくしま」

「心おどる水都・とくしま」と聞いて、皆さんはどんなことを想像されますか。ワクワクする感じ。阿波おどりの躍動感。美しい川が流れる街並み。それぞれの皆さんが、さまざまな印象を持たれると思います。「心おどる水都・とくしま」は、徳島市が平成19年度に策定した第4次徳島市総合計画で定めた市の将来像のことですが、私は市長就任当初から、全市民が一緒になって推進できる分かりやすい言葉で、端的に市のイメージを表現できるキャッチフレーズを決めたいと考えていました。

本市は、市内に四国三郎の異名をもつ吉野川をはじめとする大小138もの河川が流れ、東部は紀伊水道に臨み、中心市街地には、万葉集で「ふなのおおきみ」が「眉のごと雲居に見ゆる 阿波の山 かけて漕ぐ舟泊まり知らずも」と詠んだ市のランドマーク

眉山をはじめ、今なお原生林が残る駅裏の城山など、全国的にも珍しい、豊かな水と緑に恵まれた都市景観を形成しています。

そして、徳島市といえば、何といっても阿波おどり。400年を超える歳月を経て、今なお人々を熱狂させる阿波おどりは、「踊る阿呆に 見る阿呆 同じ阿呆なら踊らにやそんな」というお囃子(はやし)で有名ですが、これは、徳島市民に脈々と息づく踊りの魂そのもの。

私は、市民の皆さんとともに、市民お一人お一人がイメージする『心おどる○○○』を実現できる舞台「徳島市」を創っていきたくと考えています。それが「心おどる水都・とくしま」の目指さんとするところです。

私の心おどる(水都)

新町川と助任川に囲まれた市の中心部は、上空から見るとひょうたんの形をしており、「水都・とくしま」を象徴するエリアとして、「ひょうたん島」の愛称で親しまれています。

私が子どものころは、父親に連れられて吉野川で釣りをしたり、新町川で友達と貸しボートに乗ったりと、水にまつわる思い出はたくさんありますが、当時新町川は、水しぶきがかかると白い服が真っ黒になるくらい汚れていました。新町川の水質は、今と比べものにならないほど悪かったことを覚えています。

それが今では、ボランティアの皆さんの



水都の魅力を体験できる「徳島ひょうたん島博覧会」

献身的な清掃活動のおかげで、普通に泳げるほどきれいな川になっています。私も、市長になって、何度か実際に泳ぎましたが、汚れも臭いもなく、水が意外にしょっぱかったことを覚えています。

現在、ひょうたん島周辺では、徳島の地域資源であるLEDで彩られた橋や公園など、水辺空間の整備も進み、周遊船から臨む街並み、光が揺らめく水辺の散策、さらには、毎週のように川辺で開催されるマルシェや日曜市など、水都にふさわしい魅力が加わり、「心おどる水都・とくしま」が、今まさに形づくられようとしています。

私の心おどる(ひととき)

今年の夏も猛暑続きでしたが、最近朝晩が涼しくなり、すっかり秋らしくなっ

きました。

こんな時期には、私は積極的に体を動かしています。

「人生を健やかに過ごしたい」。これは、だれもが願うことだと思います。かくいう私は、スポーツが大好きで、小学生のころは野球を、中学・高校ではサッカー部に所属し、社会人になってからもしばらくは、さまざまなスポーツで汗を流していました。10年程前からは、もっぱらジョギングを楽しんでいます。マラソンに参加するようになったのもこの頃からです。

生まれて初めて参加した10kmマラソンでは、目標の50分以内に完走。その後は、吉野川を眼下に走る「とくしまマラソン」(フルマラソン)にも積極的に参加しており、現在の目標は、市民ランナーの夢、サブ4



「とくしまマラソン」に参加した筆者(中央)

を達成することです。

普段は、毎月100kmを目標に、自宅近くのひょうたん島にある徳島中央公園を5周ほど(1周2km)軽くジョギング。

春先には蜂須賀桜の並木、夏は緑のまぶしい木立、秋は美しい木々の紅葉、冬には原生林の幻想的な雪景色と、四季折々の風景を肌で感じることでできる贅沢ぜいたくなひとときです。

今では、出張先にもシューズとウエアを持参し、時間を見つけては走っています。全国市長会で東京出張の際には、神宮外苑を走ることもあります。

私がジョギングをするようになったきっかけは、「太りたくない」という一心から。食べる量を減らすのが嫌なので、それなら汗をかこうかと。

おかげで、体型は10年前のままです。

仕事柄、帰宅が夜遅くなることも多いので、そんな日の翌日や、冬の寒い日などは、走りたくないと思うこともありますが、汗をかいて走り終わると気分は爽快そうかい。日ごろのストレス解消にもつながっていると思います。

私の心おどるチャレンジ

還暦を迎えた今年、あることに初挑戦しました。公募で選ばれた市民の皆さんと一緒にミュージカル「スマイル・スマイル・スマイル」に国王役で出演したのです。

出演者される皆さんは、1年程前から熱心に練習を重ね、歌も踊りも本格的なものでした。

とにかく、私も他の出演者の足を引っ張らないようにと、しっかりと初舞台を楽しみました。

無事、舞台の幕が下りたときには、会場が揺れんばかりの大歓声と拍手で、還暦にして、自分の新たな一面を発見できたと感じるとともに、この感覚が病み付きになってしまいました。



ミュージカルで国王を演じる筆者(上段中央)

現在、3期目の任期もあと半年余りとなりましたが、体調管理をしっかりと、市民の皆さんと一緒に全力投球で臨みたいと思います。